

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：労政費 目：雇用促進費

事業名 外国人留学生県内就職情報発信事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 外国人雇用対策係 電話番号：058-272-1111(内3292)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,312 千円 (前年度予算額：2,162 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,162	0	0	0	0	0	0	0	2,162
要求額	3,312	0	0	0	0	0	0	0	3,312
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の採用活動、学生等の就職活動に大きな影響を与えており、特に外国人留学生は、日本人学生以上に就職活動が進んでいない。そのため、留学生の採用に積極的な県内企業と、日本での就職に意欲がある優秀な留学生を繋げるための取組みを強化していくことが必要である。

(2) 事業内容

・W e b 合同企業説明会実施
留学生を積極採用する企業によるW e b 合同企業説明会を開催し、企業と学生のマッチングを支援。

(3) 県負担・補助率の考え方

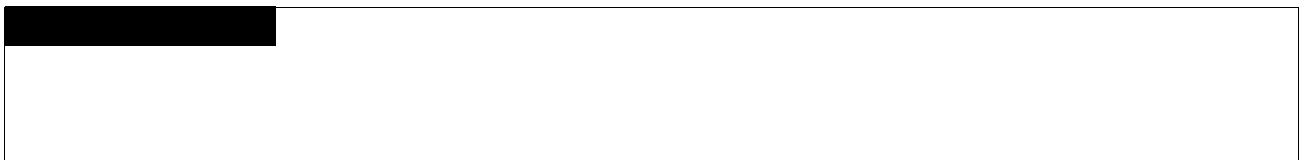
全額県負担

(4) 類似事業の有無

有（外国人留学生県内就職促進事業）（主に大学3年生が対象）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	187	業務旅費
需用費	50	消耗品費
役務費	20	通信運搬費
委託料	3,055	外国人留学生県内就職促進事業委託料
合計	3,312	



4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

<新型コロナウイルス感染症「非常事態」総合対策>

3 景気経済・生活雇用対策の強化

(1) 雇用の維持と就労支援

(2) 国・他県の状況

<国> 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策において、5本の柱の1つとして、「雇用の維持と事業の継続」を明記

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの感染拡大防止措置等が長期化し、後年度も積極的な事業実施が必要となった場合、財政負担が生じることも想定される。

(4) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルスの感染が続いている現在の状況において、県内企業に就職を希望する留学生の支援を県が実施することは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルスの影響などで就職が困難な外国人留学生に対し、採用に積極的な県内企業の情報を伝えることで、県内就職に繋げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
留学生の県内就職率	-	49%	50%	50%	50%	98%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	Web合同企業説明会を5回実施し、県内企業と外国人留学生の就職促進に寄与した。 開催日：7月29日(水)、9月9日(水)、9月16日(水)、 9月23日(水)、11月4日(水) 出展企業数：のべ21社 参加者数：のべ290名
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	留学生の就職活動が困難になっており、多様な人材の活用等の観点から、事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	留學生が企業を知る機会となる合同企業説明会は、採用に積極的な企業の情報取得ができ県内就職へ繋げられ非常に有効。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	県内大学、関係団体へ周知、事業参加等で効率的な事業運営を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 関係機関等と連携することで、より多くの留學生に事業を周知し、参加機会を提供していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 留學生、企業を取り巻く環境の変化を注視しつつ、双方のニーズをくみ取りながら、事業の展開を検討していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	